

かしま 議会だより

第110号

令和4年5月臨時会号

令和4年6月定例会号

令和4年7月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



あじさいが咲き誇る中木庭ダム展望所（6月撮影）

5月臨時会・6月定例会	P2～P3
議案審議	P4～P6
一般質問(12名)	P7～P13
新議員紹介	P13
常任委員会及び特別委員会紹介	P14～P15
全国市議会議長会表彰	P15
議会あれこれ	P16



鹿島市のホームページもご覧ください。

鹿島市議会

検索

鹿島市議会
令和4年6月定例会 会期日程

1、会期
自 令和4年6月10日
至 令和4年6月23日

2、日程

【6月】

10日 開会
・ 会議録署名議員の指名
・ 会期の決定
・ 議案の一括上程

11日 休会

12日 休会

13日 休会(議案研究)
・ 発言内容通告締切

14日 休会(議案研究)

15日 市長の提案理由説明

16日 休会(議案整理)
・ 議案審議、質疑、討論、採決

17日 休会(議案整理)

18日 休会

19日 休会

20日 一般質問(3名)

21日 一般質問(3名)

22日 一般質問(3名)

23日 一般質問(3名)
閉会

鹿島市議会
令和4年5月臨時会 会期日程

1、会期
自 令和4年5月20日

2、日程

【5月】

20日 仮議席指定
・ 会議録署名議員の指名
・ 会期の決定
・ 議席の指定及び変更
・ 常任委員の選任
・ 特別委員会委員の選任
・ 議案の上程
・ (市長の提案理由説明)
・ 議案第33号 専決処分事
項の承認について(鹿島市
国民健康保険税条例の
一部を改正する条例)
(質疑、討論、採決)
・ 議案第34号 専決処分事
項の承認について(令和3
年度鹿島市一般会計補正
予算(第13号))
(質疑、討論、採決)
閉会

次のことを審議し決定しました

【令和4年5月臨時会および6月定例会】

議案番号	議案内容	西一郎	宮崎幸宏	笠継健吾	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	勝屋弘貞	伊東茂	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果
議案第33号	専決処分事項の承認について(鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	議長	賛成多数 承認
議案第34号	専決処分事項の承認について(令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第13号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 承認
上記は、5月臨時会の案件。以下は、6月定例会の案件																		
議案第35号	鹿島市税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第36号	鹿島市営住宅設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第37号	令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…監査委員のため審議に参加できない

臨時交付金を活用した総予算額 **2億7,079万円** が決定しました。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、暮らしや生活の支援・経済対策を行います。

●物価高騰対策

・物価高騰に伴う商品券追加配布事業(商工観光課) **5,000万円**

子育て世帯および高齢者に対する物価高騰などへの支援として、18歳以下および75歳以上の人へ商品券『かしまを元気に！まるごと応援券』(1冊5,000円分)を追加で配布します。

・物価高騰に伴う学校給食費等負担軽減事業(教育総務課) **505万円**

食材費高騰の影響による保護者負担の軽減を図るため、学校給食における食材費購入の補助を行います。

●経済対策(事業継続支援)

・商品券配布事業(商工観光課) **1億6,089万円**

コロナ禍や原油高騰などの影響により冷え込む消費を喚起し、地域経済活性化・市民生活支援のため、市内店舗などで利用できる商品券『かしまを元気に！まるごと応援券』(1冊5,000円分)を市民全員へ配布します。

・農漁業者燃料費高騰等支援給付金給付事業(農林水産課) **1,800万円**

燃料費が生産コストに占める割合の高い漁業者・施設園芸農業者へ事業継続のための支援を行います。

・ウィズコロナツアー催行事業(商工観光課) **1,600万円**

コロナ禍において新しい生活様式に即したツアーを企画した旅行者や交通事業者に対してツアー代金の一部を助成します。

・ウィズコロナイベント補助金交付事業(商工観光課) **500万円**

感染症対策を施し実施する民間イベントや、新たな生活様式などへ対応するための民間企画への支援を行います。

・優良素牛導入助成事業(農林水産課) **540万円**

コロナ禍で肉牛価格低迷の影響を受けている肥育農家に係る事業継続の支援のため、肥育牛の購入費を助成します。

・セーフティネット加入促進補助金交付事業(農林水産課) **190万円**

農業者の新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少リスクに備えた収入保険への新規加入を促進します。

●安全・安心な学校生活の確保

・学習用パソコン購入事業(教育総務課) **194万円**

授業における学習支援・新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校時の自宅学習などにおける学習用パソコンを整備します。

・スクールカウンセラー事業(教育総務課) **229万円**

コロナ禍で制約が多い学校生活を強いられている児童生徒に対するカウンセリング体制の充実を図ります。

●感染防止対策の徹底

・抗原検査キット配備・配布事業(保険健康課) **300万円**

感染の不安がある市民や市内事業者に対し、市で備蓄する抗原検査キットを無料で提供します。(購入計画3,000セット)

・公共施設における感染防止対策強化事業(生涯学習課ほか) **132万円**

地区公民館などの公共施設に非接触型検温器(サーマルカメラ)を設置します。

議案審議

報告第2号

令和3年度鹿島市一般会計繰越明許費繰越計算書について



中村日出代 議員
■農業用排水施設事業費の繰越について
質問一 910万円の繰越となっているが、理由は何か。

答弁 場所は古池ため池で、浅浦と伏原に流れる水路改修工事。地元負担2割の協議が整わず工事が出来なかった。
質問二 農家だけの負担か。
質問三 浅浦地区の水の問題は何年も前から市に相談されている。問題解決を。

答弁 この地区の水不足問題は深刻と認識している。今後とも改善に向けて取り組む。
意見 負担金の難しい問題等がある。解決に市の協力をお願いする。

議案第37号

令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



福井 正 議員
■児童福祉費公園遊具撤去・設置工事費について
質問一 中牟田の中央児童遊園の新遊具の対象年齢は。

答弁 幼児を対象に考えている。
質問二 どのような遊具を設置するのか。
答弁 安全に考慮した比較的大型の遊具設置を考えている。
質問三 公園付近は比較的交通量が多いが安全対策は。
答弁 安全に十分考慮する。



市立中央児童遊園

質問四 公園トイレは古いままだがどうするのか。
答弁 いずれ改修工事の予定。

議案第37号

令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



徳村 博紀 議員
■物価高騰に伴う学校給食費等負担軽減事業について
質問 現在、円安でほぼすべての輸入品において

値上がりしている。さらには原油高騰も重なって毎日の生活に直接影響をあたえている。今回月額200円を十一ヶ月間補助となっている。現在の給食費は小学校で4300円、中学校で5000円。月額200円の補助があるとはいえ、昨今の物価上昇分を補える金額

ではないような気がする。505万2千円を十一ヶ月よりも早く使いきった場合、給食費の値上げをしなければならぬのか。
答弁 予算を早く使い切る事も否定できないが、値上げにならないように努力したい。

議案第37号

令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



伊東 茂 議員
■新型コロナウイルス感染症対応地域地方創生臨時交付金事業について
質問 今回の補正予算は市長選挙を控えての骨格

予算に、新市長が取り組みたい施策を盛り込んだ肉付け予算8億1919万1千円の追加補正となっている。特にコロナ等を乗り切る鹿島復活支援として国庫補助金を利用した2億7076万9千円が計上されているが、12事業のメニューの決定条件について問う。

答弁 庁舎内、各課が現在必要と考えるコロナ対策事業を提出させた。重要性、緊急性、市民の要望等などに加え、物価高騰対策を盛り込んだメニューを部課長会議で協議し12の事業を決定した。

議案第37号

令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



杉原 元博 議員
質問一 商品券配布事業で、前回の助かつ券のよけに使用できる店舗の色分けはされるのか。
答弁 1000円券を5

枚お配りするが、大型店・チェーン店では共通券として2枚まで利用可能。残りは小規模店舗のみ利用可能。
質問二 理美容室やクリーニング店など飲食店や販売店以外でも使用できるのか。
答弁 今後商工会議所で加盟店の募集を行う。ギ

ャンブル性の高い店や風俗店を除き、一般的なお店では利用できる。
質問三 特に高齢者は医療費の負担も大きい。医療関係で使用はできるのか。
答弁 保険診療適用分や国・地方公共団体への支払い等には使用できない。



勝屋 弘貞 議員
■鹿島市スポーツ合宿誘致事業交付金について
質問 樋口前市長が力を入れていたこの事業。補正予算が上がっていると

いうことは、松尾新市長は肯定的にこの事業を捉えているということになるが、昨今の経済状況を考えるとこのままのやり方でよいものかどうかと考えるところがある。以前より市民の中には否定的な方も多いのも事実であり、市長の考えを聞く。



蟻尾山陸上競技場

答弁 庁内でも検討しなければならぬと考えている。

議案第37号

令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



中村 和典 議員
■黒川水系頭首工統廃合のための調査事業について
質問 今回、農業水利施設再編等モデル実証事業

として、1千10万円の予算が計上されているが、どういう事業を実施するのか。
答弁 黒川水系には、9つの頭首工があり、伏原区・浅浦3区で維持管理がされているが、老朽化に伴い将来負担の軽減を図るため、令和2年度から県の支援・助成を受け

て、市が事業主体となって調査を行い地元と協議を重ねている。
本年度は、水不足の解消及び頭首工の統廃合を目的として、黒川の水量調査を行い、河川・頭首工・水田等の水量・流量を数値化し、今後の事業の検討材料とする。

議案 審議

議案第37号
令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



樋口 作一 議員
急傾斜防止工事について

質問 中山間地における住居は崖下に多くつくられているので、降雨量が

増えた現代において安全な暮らしを行うにはどうしても崖の法面が崩れない工事が必要である。しかし個人負担が高すぎて躊躇する世帯もある。負担金の軽減策はないのか。

軒でも申請できるようにした。この案件は3軒での申請なので負担金が多くなっている。これからは、助成の在り方も含めて検討していくことが必要だと考える。

西 一郎 議員
質問一 農漁業者燃料費高騰等支援給付金給付事業が補正予算で計上されているが、燃料費高騰の影響を受けている他業種

への支援は行われないのか。
答弁 すべての業種で燃料費高騰の影響を受けているのは認識している。限られた予算の中で特に影響を受けている農業と漁業を対象とした。また、その他の業種については県の補助金を活用し支援していく。

質問二 中央児童遊園のバリアフリー化は行われないのか。
答弁 地元より駐車場整備の要望も上がっている中で公園の環境整備を地元と協議しながら行っていく。

議案第37号
令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



宮崎 幸宏 議員
児童遊園管理事業における中央児童遊園遊具設置工事について

質問 J.R肥前鹿島駅周辺整備全体構想において、

ネットワーク拠点となっている中央児童遊園を連携してにぎわいづくり、交流の観点で一体的かつ効率的な整備ができないか。



周辺整備が予定されている駅舎と広場

がら整備していきたい。



建設が進む鹿島市の新市民会館(7月7日撮影)

議案第37号
令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について



西 一郎 議員
質問一 農漁業者燃料費高騰等支援給付金給付事業が補正予算で計上されているが、燃料費高騰の影響を受けている他業種

への支援は行われないのか。

質問二 中央児童遊園のバリアフリー化は行われないのか。

答弁 地元より駐車場整備の要望も上がっている中で公園の環境整備を地元と協議しながら行っていく。

一般質問に12人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信!

下記のQRコードを読み取っていただければ、6月20日、21日、22日、23日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【6月20日】



中村 一堯 議員
福井 正 議員
杉原 元博 議員

【6月21日】



松尾 征子 議員
池田 廣志 議員
徳村 博紀 議員

【6月22日】



中村 日出代 議員
笠継 健吾 議員
樋口 作二 議員

【6月23日】



中村 和典 議員
宮崎 幸宏 議員
松田 義太 議員

※議場では、新型コロナウイルス感染予防のためアクリル板を使用して質問、答弁をしています。



中村 一堯 議員
松尾新市長の市政運営について

質問一 市長選挙を通じて受け止めた市民の声や鹿島市の課題についてはどう捉えているか。
答弁 鹿島はこれから大きく変わっていくという意識を市民が持っているように感じている。
①西九州新幹線開業に伴う特急の減便の影響
②少子高齢化と中山間地域の問題
③子育て世代が鹿島に住みたくなるような施策の充実
④近年多発する自然災害への備えなど。
鹿島が取るべき課題は山積している。選挙戦では皆さんが不安なこと、困っていることを解決できるように市民の皆様の声聞きながら、近隣自治体の方々と協力して、共に鹿島を創っていくことが今後は、より丁寧

「市長と語る会」を開催し、地域の課題や女性や若者の声を聞いていって鹿島のまちづくりを市民一丸となって取り組んでいく。
質問二 市長選挙で掲げた公約と、新たな取り組みや計画などをどう考えているか。
答弁 公約では主に5つの項目についてあげている。
①高速交通網の整備では、有明海沿岸道路や国道498号線などの高架化について関係機関と協力して早期整備できるように取り組む。
②若者から高齢者まで切れ目のない支援では、高校生までの医療費助成拡大や小中学校の給食費の段階的な無料化に取り組む。
③災害に強いまちづくりでは、ハード整備の推

進とともに自主防災組織の訓練を増加させて、万が一の災害に備えるまちづくりを目指す。
④ICTやデジタル化では、自治体DXの立ち上げやデジタル田園都市構想に合わせる形で国や県と協力して進めていく。
⑤男女共同参画社会の実現では、女性や若者の声を聞いたまちづくりを進めるために市長直属の諮問機関などを検討している。
さまざまな団体において女性の占める割合を増加させ、本当の意味で「みんなで創るまちづくり」を目指す。



福井 正議員

鹿島市への移住定住施策について

鹿島市に移住したくなる施策

質問一 鹿島市の人口は、市報には令和4年4月は2万8千177人、6月は2万7千987人と190人減少。人口減に歯止めがきかない。

北海道東川町は人口が増加している自治体としてニュースになった。鉄道や国道、上下水道もなく、農業と林業と木工の町で、1950年1万754人から1993年に7千人を切った。町は大雪山旭岳があり、自然豊かな町である。町はイベント会社と連携し旭岳等自然を生かした「東川町国際写真フェスティバル」を全国の高校の写真部に呼びかけ開催。町民がホームステイやスタッフとして参加。

移住者が徐々に増加している。鹿島市はガタリンピックや酒蔵ツーリズム、鹿島おどり等のイベントや豊かな自然がある。ホームステイの経験もある。イベントを活用した移住策ができないか。

答弁 企画財政課などの関係部署で連携してアピールしたい。

質問二 鹿島市の人口減少の要因は、転入より転出が多いこと、出生数より死亡数が多いことである。出生数増加策として県内でも取り組む自治体がある出産祝い金に取り組み考えは。

答弁 企画財政課などの関係部署で連携してアピールしたい。

また、奨学金制度は鹿島市にあるが、貸与型であり、卒業時に借金を背負って社会人となられる。これを返済不要の給付型にできないか。原資として、ふるさと納税を活用したらどうか。

答弁 進学時の家庭の負担があることは理解している。鹿島市は資金繰りが困難である。給付型は国・県にもあるので活用してほしい。



移住体験施設(旧筒井家)

質問三 外国籍の方を見かけるが人数は、居住年数は。また、鹿島市の人口にカウントされるのか。

答弁 人数は現在171名。鹿島市に居住されていれば人口に含まれる。



杉原 元博議員

地方創生臨時交付金の活用について

質問一 自治体の事業を国が財政支援する「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の創設が決まった。どのように考えて今回の補正予算に計上したのか。

答弁 国・県の事業で手の届かない部分に対し、何が必要であるか庁内で協議し決定した。

質問二 学校給食費以外(保育園・幼稚園等)の給食費の負担軽減をどう考えているのか。

答弁 県の6月補正予算にて、補助制度が計上され、鹿島市もこの補助制度の活用を予定している。

質問三 子育て世帯の生活支援については、地方創生臨時交付金をどう活用するのか。

答弁 フードバンク事業や子どもメール宅配事業について、今後、社会福祉協議会と具体的に話を詰めていく予定。

質問四 ガソリンの値上げが続いているが、原油高騰対策としてはどう考えているのか。

答弁 佐賀県の6月補正予算で、中小事業者の原油・原材料高に係る緊急対策が盛り込まれている。支援策・制度の周知に努めていく。

若者の声を反映させる施策について

質問一 若者の政治参加の低迷が長年指摘されてきた。市内の若者の投票率について聞く。

質問二 若い人たちが政治に関心を持つには、学

答弁 直近の市長選・議員補欠選挙では、全年代を通じ20代が最も低く約34%、次に10代で約37%、30代で約44%。全体平均投票率の約59%と比較し低い状況。

質問三 若者の政治参加の低迷が長年指摘されてきた。市内の若者の投票率について聞く。

答弁 生活支援・就労支援などを組み合わせての支援が必要である。

質問四 今後は各審議会等に若者枠を導入し、意思決定に参画させることを提案したい。

答弁 議会と行政が一体となって、若者の声を反映させていく事は重要だと思っております。お互いに研鑽を深められればと思っております。



松尾 征子議員

命とくらしを守る松尾市政を

インボイス導入中止を

質問一 23年10月からインボイス導入が計画されている。導入されると、これまで小規模な免税業者にも新たな税負担がかかってくる。商店や工場などの事業者だけでなく農家やシルバー人材センター会員、ホステス、フリーランスで働く人等に影響があるといわれている。特にコロナによって受けた打撃から立ち上がるのも大変な時、やらないといけないのは、消費税減税とインボイス導入を中止すること。導入についての市長のお考えを。

答弁 導入についてわかりにくい人が多い。令和元年消費税が10%になった。一千万円以下の事業者は免税だが、国民すべてに適正な課税をということと令和5年10月から導入が決まった。一千万以下の人にも納税義務が発生する。導入により、事務負担が複雑になる事業者が出てくる。取引の中間段階から排除されることが発生する。コロナで事業者がきびしいなかで批判があることも知っている。困った人達にどんな形で還元するのか国に対し言っていきたい。

75歳以上の医療費を無料に

質問一 年金の減額、物価高は安い年金ぐらしの高齢者には大きな痛手。更に医療費二倍化が控えている。

答弁 生活が大変なのはわかる。そのために5千円の商品券、75歳以上にはさらに5千円を支給する。医療費の無料化をということだが、財源をとまなう。どういう型でどれだけの財源がかかって、これからの市政の運営とともに考えていきたい。



池田 廣志議員

自然が豊かで、災害にも強く、住み続けたい街づくりについて

自然環境を守る取り組みは

質問一 中川には可動堰があり、珪藻が異常発生しているが。

答弁 中川は河川勾配が緩やかで、水が滞留し、水藻が多く発生しているが、水質は問題無い。9機の可動堰は、区が管理し、年1回の打ち合わせの際に、珪藻のことを協議する。

質問二 9機の可動堰間に小魚等が一匹もいないし、市内でも虫も居ない。

答弁 50年以上経過した施設もあるので、平成29年度の農業用水ストックマネージメントで、緊急事態に備えている。

質問三 大雨前に、ため池やダム水位を下げることは。

答弁 ダムは、雨期前に1m下げ、豪雨の予報が出る時は、さらに1m下げることになっている。

質問四 国道207号バイパス沿線を開発し、雇用の確保と産業振興に努めるべき。

答弁 関係機関と協議し、対処する。

質問五 市職員は、公務以外でも市民目線で取り組むべきと思うが。

答弁 市長として思いは同じなので、しっかりと取り組む。

災害から市民を守るには

質問一 年々雨の降り方が

質問二 住み続けるための対策は

質問三 住み易くなった

質問四 住み易くなった

質問五 住み易くなった



徳村 博紀議員

新幹線開業と同時に JR肥前鹿島駅からJR長崎駅までの 特急がなくなるがその代替策は

質問一 9月の新幹線開業と同時に長崎本線博多行き方面の特急が減便、長崎行き特急はなくなる。長崎に行くための高速鉄道に乗るには鹿島からだと嬉野になると思うが、まずJR肥前鹿島駅からJR長崎駅までの普通列車と特急の所要時間と料金、そしてJR嬉野温泉駅からJR長崎駅までの所要時間と料金をお伺いする。

答弁 普通列車で約2時間1500円。特急で1時間2500円。JR嬉野温泉駅からJR長崎駅まで25分。この状況であれば嬉野まで行って新幹線に乗った方が1時間以上早く着く。

質問二 JR肥前鹿島駅からJR長崎駅まで普通列車で2時間、新幹線だとJR嬉野温泉駅からJR長崎駅まで25分。この状況であれば嬉野まで行って新幹線に乗った方が1時間以上早く着く。



地域住民の貴重な足となる普通電車

質問三 通勤・通学の定期券があれば期間と金額を教えてください。

答弁 JR嬉野温泉駅からJR長崎駅までの1ヶ月定期券で、通勤で6万8260円、通学で4万5040円、3ヶ月通勤で20万160円、通学で13万2840円、6ヶ月通勤で38万1240円、通学で26万1160円となっている。

質問四 朝の通勤通学の時間帯に合う新幹線の便がない。これは朝一の便がJR武雄温泉駅には停まるがJR嬉野温泉駅には停まらないということのように。これもJRに要望すべきと思うがいかがか？

答弁 県と一緒に要望していきたいと思う。



中村 日出代議員

鹿島市耐震改修 促進計画について

鹿島駅周辺 整備計画について

質問一 鹿島市内に活断層はあるのか。

答弁 西葉断層があり、平成25〜26年度に実施された佐賀県地震被害等予測調査ではマグニチュード6・9、震度6強の地震が発生する可能性があると予測されている。

質問二 計画にある西葉断層の地震で想定されている人的被害は。

答弁 冬の深夜に発生した場合、死者約170名、負傷者940名の想定となっている。

質問一 事業の内容について説明を。

答弁 ガンにかかられた方に、医療用補正具購入費用の一部を助成する事業。

質問二 計画にある西葉断層の地震で想定されている人的被害は。

答弁 冬の深夜に発生した場合、死者約170名、負傷者940名の想定となっている。

質問三 都市計画法第18条の2に議会の議決を経た基本構想とあるが。

答弁 第7次鹿島市総合計画が基本構想。

意見 佐賀県に鹿島駅を整備してもらうことは本当に有り難いこと。しかし、鹿島市の財政状況を考え、身の丈にあった整備を。

質問二 賑わい拠点施設の内容は、管理人室、トイレ、賑やかな待合室、特産品販売機能、カフェとなっている。全てが整備されるといふことか。

答弁 その予定である。

質問三 都市計画法第18条の2に議会の議決を経た基本構想とあるが。

答弁 第7次鹿島市総合計画が基本構想。

意見 是非相談を受け、鹿島市にガン患者支援団体を設立できるように要望する。



笠継 健吾議員

地域活性化の 取り組みについて

質問一 鹿島市の人口推移と、就職時年齢の状況はどうなっているか。

答弁 過去10年を見ると、平成25年3月末が3万1千130人、令和4年3月末が2万8千7人であり、10年間で3千123人の減少である。就職年齢時の18歳から25歳の動きは、毎年大体30人から70人が、減少している状況である。

若者の定住促進 について

質問一 就職時の若い人の転出が多いが、定住促進策はどうしているか。

答弁 平成31年度より鹿島の企業説明会を開催し、サイト等により市内及び近隣の6つの高校や県内の大学へも案内。第3回目は29社の企業が参加、参加高校4校で保護者共119名の参加。1、2

質問二 企業等の誘致により、雇用の拡充を図る必要があると思われるが、取り組みはどうか。

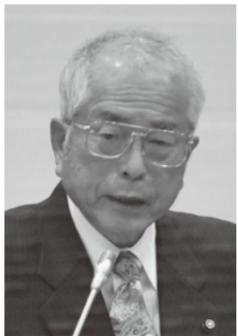
答弁 市の工業団地の分譲も終わり、事務系の企業、サテライトオフィスの誘致を強化している。新規工業団地の整備計画も検討していく。鹿島の水等、有利性を活かした情報発信、トップセールスを意識していく。

質問一 中庭ダム周辺は、大自然で子供が伸び伸び遊べる場所として最

質問二 企業等の誘致により、雇用の拡充を図る必要があると思われるが、取り組みはどうか。

質問一 中庭ダム周辺は、大自然で子供が伸び伸び遊べる場所として最

質問一 中庭ダム周辺は、大自然で子供が伸び伸び遊べる場所として最



樋口 作二議員

子どもの成長と 鹿島市のスポーツ環境

SAGA2024の 意義について

質問一 鹿島市は、SAGA2024にどう取り組むのか。

答弁 わが国最大のスポーツの祭典である国民スポーツ大会の佐賀県での開催は、スポーツを普及する絶好の機会ととらえるとともに、これまで培われてきた本市の魅力や絆と連帯感を高め、みんなが住みやすく暮らしやすい町の実現につなげたい。

意見 循環バスのアンケートを継続的にを行い、市民要望に応じて欲しい。

中学校クラブの状況

質問一 中学校の部活動の在り方が問われているが、部活動指導者の外部委託についてどうとらえているのか。

答弁 市内中学校の部員数は、部活動以外のクラブチームなどに所属する者や部活動をしない生徒の増加などにより、次第に減少している。中学校の部活動は、学習指導要領に記されているが、少子化による部員数の減少や教員の働き方改革などによりこれを撤廃し、指導者の外部委託が検討されている。

質問一 中学校の部活動の在り方が問われているが、部活動指導者の外部委託についてどうとらえているのか。

小学校社会体育 の現状

質問一 小学校社会体育の現状や課題はどうなっているのか。

答弁 1970年代を中心に様々なスポーツ少年団が形成され、小学校区を単位に教職員が多く関わって活動してきたが、地区を単位とせず高い競技力を求めるクラブチームや習い事に参加する児童もあり、消滅するスポーツ少年団も出てきている。

質問一 小学校社会体育の現状や課題はどうなっているのか。



中村 和典 議員

市長選挙の結果について

質問一 市長になろうと決意された理由は。

答弁 市議会議員15年の経験から、ふるさと鹿島をしつかり守り、良くして行くという思いと、周りに農業者や漁業者等多くの人の関りがあつたから。

質問二 市長の得票数7475票は、全体の得票率32・3%で、有権者の3分の1から支持されたこの結果をどう見るか。

答弁 若い人の得票が少なかつたので、若い人の意見を取り入れて、まちづくりを進めていく。

市政運営の考え方、抱負について

質問一 有明海沿岸道路・国道498号・肥前鹿島駅周辺整備等のハード事業を一期4年間でどれくらい進めるのか。

答弁 関係する市町が多

いため首長とコミュニケーションを図り、早く道筋をつけたい。

質問二 高校生までの医療費助成拡大の事業内容は。

答弁 高校生の対象者数が767人、助成額1千1百1万6千円を見込んでいる。

質問三 学校給食費の無償化について。

答弁 給食費については、保護者負担が原則である。無償化すると毎年1億2500万円の予算が必要となるため実施は難しい。

質問四 災害復旧工事の遅れについて。

答弁 令和2年・3年の復旧工事の遅れ50箇所全体の15%については、6月末から9月末までにす

べて完了する。

質問五 新市民会館建設事業の見通しについて。

答弁 工期の遅れと事業費の増大については、9月定例会で変更承認をお願いしたい。

質問六 市長と語る会について。

答弁 7月中旬から6地区で予定している。各地区からの要望事項については、優先順位をつけて取り組みたい。女性や若い人が参加して意見を出してもらいたい。



松田 義太 議員

鹿島市が直面している政策課題について

西九州新幹線開業に向けた取り組みについて

後には10本。23年後の運行形態は何も決まっていない。

質問一 9月23日、西九州新幹線が開業する。武雄市、嬉野市では、開業式典、種々なイベントが企画されている。鹿島市は、西九州新幹線開業に向け、どのような取り組みを検討されているのか。

市は、将来を見据えた対策・備えに早い時期から取り組んでもらいたい。関係機関との連携に努め、しっかりとした準備と利用促進にも取り組むたい。



大幅減便となる特急

有明海再生の取り組みについて

質問一 有明海西部の海苔養殖業については、深刻な赤潮被害・栄養塩不足等による色落ちによ

り、収穫量の落ち込みが激しく、例年の半分以下というかつてない不作となった。漁業者は一昨年から続く不作により、経営の危機に直面している。市の独自の支援策として、施肥支援の拡充などを検討できないか。

答弁 漁協関係者との協議で、施肥以外の支援策を検討している。

質問二 環境改善に向けては、大学や有明海振興センターなどの機関と連携を強化し、漁業者からの現場の意見と研究機関から得られたデータをお互いに共有し、より有効な対策をしていく事が重要である。市独自で大学との連携協定を検討してほしい。

答弁 大学とのつながりもあるのですが、どのような取り組みが出来るのか検討したい。

新議員紹介

令和4年4月24日に執行された
鹿島市議会議員補欠選挙において当選した
3名の議員を紹介します。



笠継 健吾 (68歳)
鹿島市能古見地区在住



宮崎 幸宏 (52歳)
鹿島市北鹿島地区在住



西 一郎 (46歳)
鹿島市鹿島地区在住

今後とも、よろしくお願いたします。



宮崎 幸宏 議員

将来に亘る鹿島市の公共交通の確保等について

有明海沿岸道路について

質問一 国や佐賀県などに対する有明海沿岸道路の要望について。

答弁 有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会が国土交通省や佐賀県などに對して要望書を提出している。

質問二 有明海沿岸道路の早期実現について。

答弁 有明海沿岸道路関係自治体が意思統一を図り、さらに地域住民の民意が加わることが重要であり、関係自治体などと連携、協力しながら、実現に向けて粘り強く堅実に取り組んでいきたい。

九州新幹線西九州ルートに伴うJR在来線

質問一 九州新幹線西九州ルート開業に伴う長崎本線(肥前山口〜諫早)の

の利便性低下に関する補完について。

答弁 9月23日開業に伴い、肥前鹿島駅発着の佐賀・博多方面の特急列車が45本から14本に減少する。

それを補うために普通列車の6本増便や肥前山口駅での接続に留意したダイヤ編成となっている。

質問二 九州新幹線西九州ルート(新鳥栖〜武雄温泉)に伴う並行JR在来線の問題について。

答弁 鹿島市にとって更なる利便性の低下が懸念されるため、佐賀県や沿線自治体と連携しながら行方を注視し、これ以上の利便性の低下にならないよう働きかけを行っている。

水災害に対する防災・減災対策について

質問一 水災害に対する備え(「自助」「共助」「公助」)について。

答弁 自分や家族内で取り組む「自助」、地区や地域で助け合う「共助」、市や警察、消防が行う「公助」の相互連携、協力が重要であり、そのための啓発と防災訓練などへの支援を行っている。

質問二 水災害に対する防災・減災について。

答弁 水災害危険箇所を事前点検し、必要に応じて被害軽減、減災対策を的確に行っている。また、鹿島市の防災行動計画と防災体制に基づき、土砂災害警戒情報が発表された場合の避難指示などの判断、対応を行っている。

○まちづくり対策特別委員会

- 委員長 勝屋弘貞
- 副委員長 杉原元博
- 委員 西 一郎 笠継健吾 中村和典
伊東 茂 徳村博紀
- 定数 7

様々な公共施設の再整備(市民会館、JR肥前鹿島駅周辺整備等)に関する諸問題の調査・研究を行います。



○公共交通対策特別委員会

- 委員長 福井 正
- 副委員長 樋口作二
- 委員 宮崎幸宏 中村日出代 池田廣志
中村一堯 松尾征子
- 定数 7

鹿島市が抱える道路、鉄道、バス、タクシーなど公共交通の在り方と問題解決に取り組めます。



全国市議会議長会 表彰



5月25日、全国市議会議長会 第98回定期総会におきまして、鹿島市議会から4名の議員が表彰を受けました。

- 写真右から ○角田一美 議長…正副議長4年表彰
- 松尾征子 議員…議員40年特別表彰
- 伊東 茂 議員…議員15年表彰
- 中村一堯 議員…議員10年表彰

鹿島市議会常任委員会等委員名簿

○議会運営委員会委員

- 委員長 伊東 茂
- 副委員長 中村一堯
- 委員 杉原元博 樋口作二
中村和典 徳村博紀
- 定数 6

会期日程、議事日程等議会運営に関する事項及び議長の諮問事項等を審議します。



○総務建設環境委員会委員

- 委員長 中村和典
- 副委員長 中村一堯
- 委員 宮崎幸宏 中村日出代
杉原元博 勝屋弘貞 福井正
角田一美
- 定数 8

市政一般、企画・防災、公共施設・道路施設、ごみ処理・公共下水道等に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。



○文教厚生産業委員会委員

- 委員長 樋口作二
- 副委員長 徳村博紀
- 委員 西一郎 笠継健吾 池田廣志
伊東茂 松尾征子 松田義太
- 定数 8

教育、福祉厚生、保険健康、産業、経済に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。



○議会報告会プロジェクト(鹿島市議会運営等改革検討会) 定数 8

- チーフ 松尾征子
- サブチーフ 池田廣志
- 委員 西 一郎 笠継健吾 中村日出代 杉原元博 中村和典 松田義太

○ICT活用推進プロジェクト(鹿島市議会運営等改革検討会) 定数 8

- チーフ 徳村博紀
- サブチーフ 伊東 茂
- 委員 宮崎幸宏 樋口作二 中村一堯 勝屋弘貞 福井正 角田一美

議会あれこれ (令和4年4月～6月)

4月

- 6日 議会だより編集委員会
- 13日 議会運営委員会
- 15日 佐賀県市議会議長会
- 24日 市議会議員補欠選挙
- 25日 新任議員説明会
- 27日 新任議員研修会
- 28日 議会運営委員会

5月

- 2日 新任議員研修会
- 13日 全員協議会
新任議員研修会
- 16日 新任議員研修会
- 17日 新任議員研修会
- 20日 全員協議会
5月臨時会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
まちづくり対策・公共交通対策特別委員協議会
- 24日 九州市議会議長会理事会
臨時佐賀県市議会議長会
- 25日 全国市議会議長会
新任議員研修会
- 26日 議会運営委員会

6月

- 2日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 3日 公共交通対策特別委員協議会
- 8日 議会運営委員会
- 9日 まちづくり対策特別委員協議会
- 10日 6月定例会 開会 議案の上程(～23日)
全員協議会
- 15日 6月定例会 議案審議 質疑、討論、採決
- 20日 6月定例会 一般質問(～23日)
- 22日 議会運営委員会
- 23日 6月定例会 閉会
議会運営委員会
- 27日 全員協議会
議会だより編集会議
- 29日～7月1日
議会運営委員会行政視察

行政視察受入状況 (令和4年4月～6月)

- 5月 9日 大阪府交野市議会 11名
- 6月 28日 新潟県新発田市議会 7名

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	4月		5月		6月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	2	6,000	0	0	1	8,000	3	14,000
会費	0	0	0	0	0	0	0	0
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	6,000	0	0	1	8,000	3	14,000



編集後記

日頃から鹿島市議会へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。また「かしま議会だより」を毎号楽しみに読んでくださってます市民の皆さまありがとうございます。

5月12日に元市議会議員の松尾勝利氏が第6代鹿島市長に就任されました。同時に議員補欠選挙において3名の新任議員が誕生し、定数16名でこの1年間しっかりと頑張っております。

新年度になり編集委員も交代し、最後4年目の議会だより編集となります。市民の皆さまに分かり易く読んでいただけるよう努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



新編集委員。西一郎議員(円内)は都合により欠席

令和4年度かしま議会だより編集委員会

- 委員長 杉原 元博
- 副委員長 福井 正
- 委員 西 一郎
- 委員 宮崎 幸宏
- 委員 笠継 健吾
- 委員 松田 義太
- 顧問 松田 義太

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。